

## ◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(80歳代男性, 80歳代女性)あり, 本年の累積報告数は18例となっています。京都市では, 「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URLをご参照ください。  
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(保健医療課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.50(21例)となり, 前週 0.31(13例)よりも増加しました。京都市過去5年平均値を上回る状況が続いています。

## ◆ 今週のトピックス:<結核>

- ・ 3月24日は世界結核予防デーであり, 世界及び本市の平成27年までの結核の状況についてまとめています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 5例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 66例(肺結核 36例, その他結核 6例, 潜在性結核感染者 24例)うち喀痰塗抹陽性 16例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 18例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	10.25	707
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.33	182
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	43
	③ 咽頭結膜熱	0.50	21
	④ 流行性耳下腺炎	0.43	18
	⑤ 突発性発しん	0.38	16
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

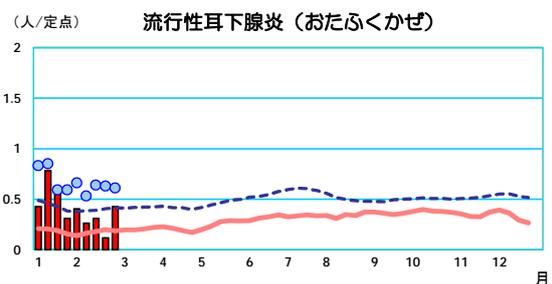
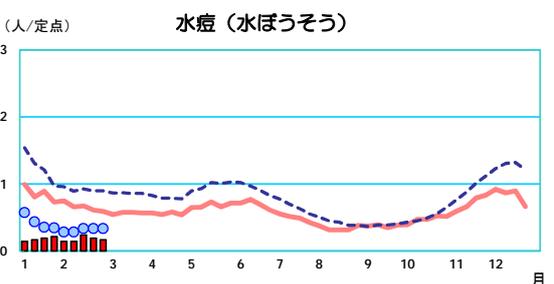
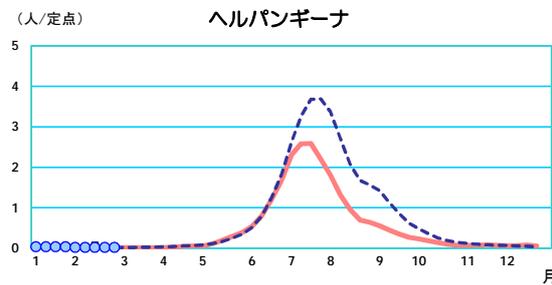
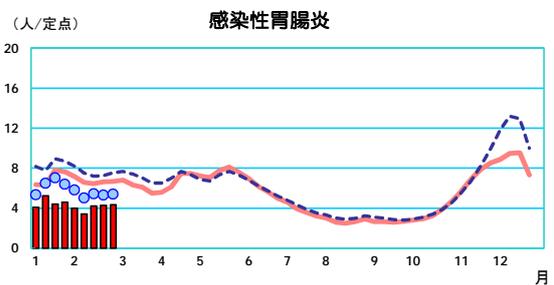
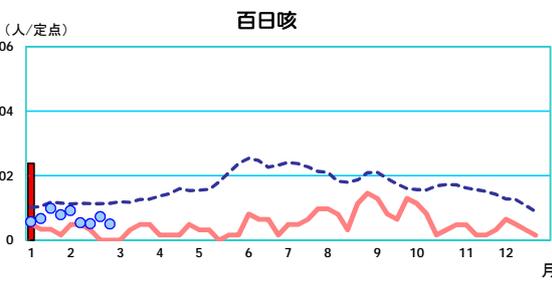
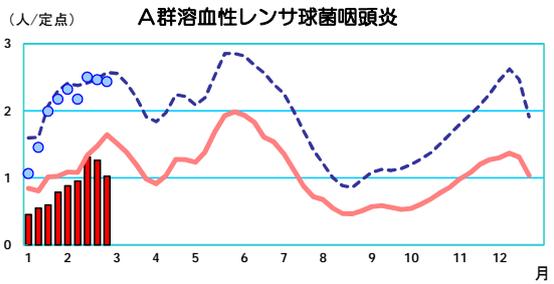
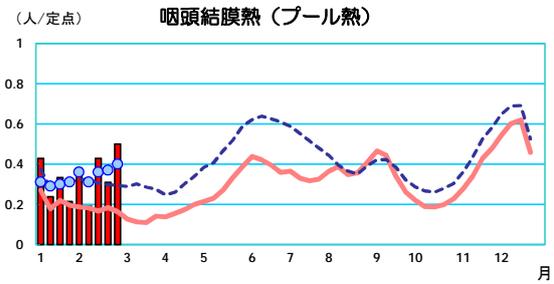
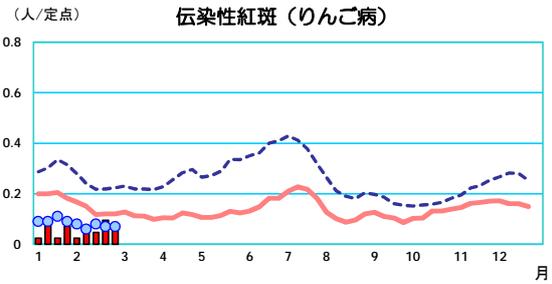
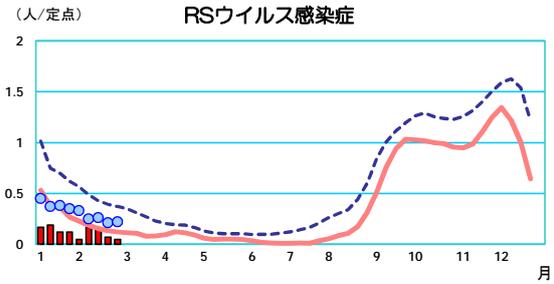
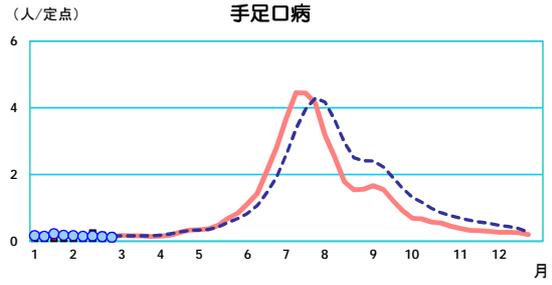
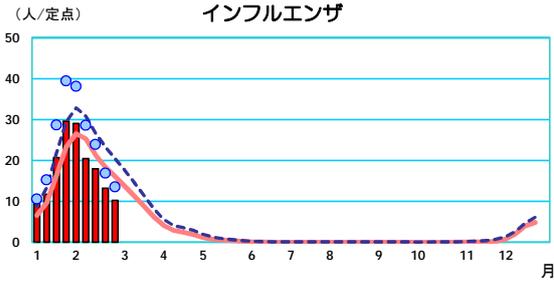
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<結核>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年3月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第9週(2月27日～3月5日)トピックス: <結核>

3月24日は世界結核予防デー(※1)で、今年のテーマは“Unite to End TB: Leave no one behind”です。これにちなみ、世界及び本市の平成27年までの結核の状況についてまとめました。

WHOによると、平成27年に世界で新たに結核を発病する人が年間1,040万人、結核で亡くなる人が180万人と報告されています(※2)。主に低・中所得国で結核罹患率(人口10万対)が高く(図1)、多くの先進国では低ま延国の水準である10を下回っています(表1)。一方、日本は結核罹患率が14.4となっており、先進国の中では高い値を示しています。

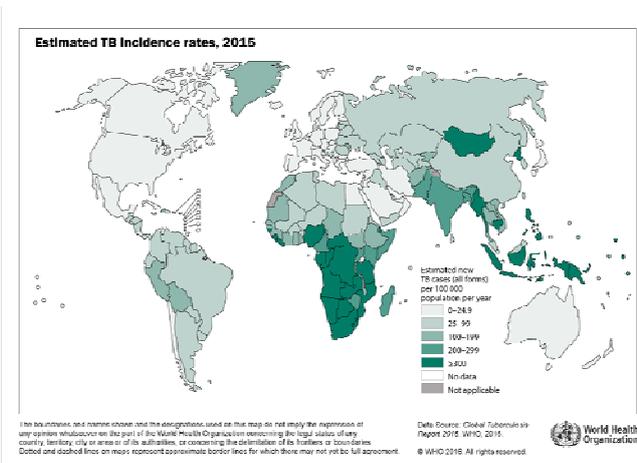
本市の平成27年の結核罹患率は16.2で、前年の21.8から5.6ポイント減少しましたが、依然、全国の14.4と比較して高値を示しています(図2)。年齢階級別の比率では、平成26年に比べ、30～59歳は減少したものの、0～29歳及び60歳以上では増加しました(表2)。

結核の主な感染経路は気道を介した飛沫核感染であることから、患者の早期発見・早期治療が重要です。このことは本人の重症化を予防するだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐこととなります。特に抵抗力の弱い乳幼児への感染は、大半が家族等の身近な患者からの感染と言われています。咳が2週間以上続く、急に体重が減る、身体がだるい等の症状があれば、医療機関を速やかに受診しましょう。

(※1) 1882年に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌を発表した日にちなみ、1997年の世界保健総会で制定されました。

(※2) WHOホームページ(<http://www.who.int/campaigns/tb-day/2017/event/en/>) (平成29年3月9日閲覧)から引用

(図1) 平成27年推定結核罹患率(※1)

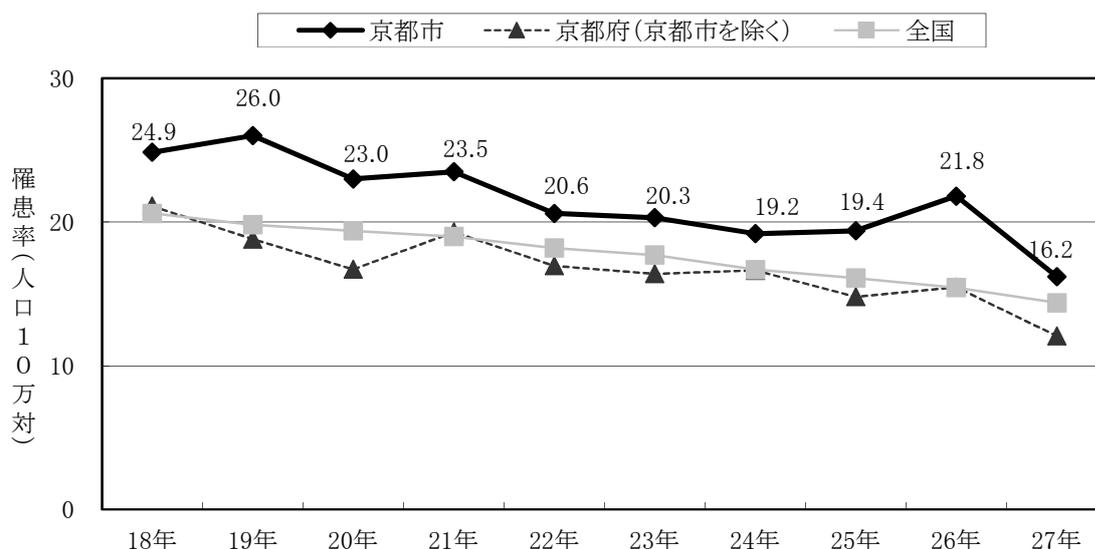


(表1) 諸外国と日本の結核罹患率(※2)

国名	罹患率	年次
米国	2.8	2014
カナダ	4.4	2014
オランダ	4.8	2014
イタリア	5.1	2013
デンマーク	5.2	2014
ドイツ	5.4	2014
オーストラリア	5.6	2014
スウェーデン	6.5	2014
フランス	7.1	2014
英国	10.0	2014
日本	14.4	2015

(諸外国のデータは、Global Tuberculosis Control WHO Report 2015 より)

(図2) 京都市における過去10年間(平成18年～平成27年)の結核罹患率(人口10万対)の推移



(表2) 京都市の罹患者における年齢階級別の比率(平成27年)

0～29歳	5.5 %	5.4%(平成26年)から0.1 ↑
30～59歳	24.0 %	25.7%(平成26年)から1.7 ↓
60歳以上	70.5 %	68.9%(平成26年)から1.6 ↑

(※1) WHOホームページより抜粋([http://gamapserver.who.int/mapLibrary/Files/Maps/Global\\_TBincidence\\_2015.png](http://gamapserver.who.int/mapLibrary/Files/Maps/Global_TBincidence_2015.png)) (平成29年3月9日閲覧)

(※2) 厚生労働省ホームページより抜粋(<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000133822.pdf>) (平成29年3月9日閲覧)

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第9週

疾病,行政区別報告数

平成29年2月27日～平成29年3月5日

データ入手日:平成29年3月8日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	39	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	-	1						
上京	32	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	3	-	-						
左京	72	-	3	6	47	1	-	-	-	-	-	2	-	-						
中京	47	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	30	1	-	-	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
山科	74	-	-	14	10	-	2	-	1	-	-	1	-	1						
下京	24	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	79	-	6	1	10	2	3	-	3	-	2	-	-	-						
右京	131	-	3	10	22	1	2	1	2	-	1	6	-	-						
伏見	105	1	3	7	42	1	3	1	5	-	-	3	-	-						
西京	74	-	6	5	27	1	-	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	707	2	21	43	182	7	10	3	16	-	3	18	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5.57	-	-	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	1.00						
上京	6.40	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-						
左京	10.29	-	0.75	1.50	11.75	0.25	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
中京	9.40	-	-	-	0.67	0.33	-	0.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10.00	0.50	-	-	6.50	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-						
山科	10.57	-	-	3.50	2.50	-	0.50	-	0.25	-	-	0.25	-	1.00						
下京	8.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	15.80	-	2.00	0.33	3.33	0.67	1.00	-	1.00	-	0.67	-	-	-						
右京	16.38	-	0.60	2.00	4.40	0.20	0.40	0.20	0.40	-	0.20	1.20	-	-						
伏見	9.55	0.14	0.43	1.00	6.00	0.14	0.43	0.14	0.71	-	-	0.43	-	-						
西京	9.25	-	1.20	1.00	5.40	0.20	-	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	10.25	0.05	0.50	1.02	4.33	0.17	0.24	0.07	0.38	-	0.07	0.43	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年2月27日～平成29年3月5日

データ入手日:平成29年3月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	707	1	10	29	29	34	27	40	31	26	22	34	111	39	47	53	60	32	27	29	26	
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		21	-	1	8	2	1	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	-	-	3	3	5	8	7	7	2	4	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		182	3	4	21	13	19	20	22	16	9	6	6	13	8	22	-	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		10	-	-	6	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		18	-	-	2	-	2	3	3	-	2	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	10.25	0.01	0.14	0.42	0.42	0.49	0.39	0.58	0.45	0.38	0.32	0.49	1.61	0.57	0.68	0.77	0.87	0.46	0.39	0.42	0.38	
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.50	-	0.02	0.19	0.05	0.02	0.10	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	-	-	0.07	0.07	0.12	0.19	0.17	0.17	0.05	0.10	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.33	0.07	0.10	0.50	0.31	0.45	0.48	0.52	0.38	0.21	0.14	0.14	0.31	0.19	0.52	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	-	-	0.02	-	-	-	0.02	0.05	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.24	-	-	0.14	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.38	-	0.12	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.43	-	-	0.05	-	0.05	0.07	0.07	-	0.05	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年3月8日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		2,042	2,004	1,413	1,239	910	707
RSウイルス感染症		5	2	7	6	3	2
咽頭結膜熱		9	16	8	18	13	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	37	40	55	53	43
感染性胃腸炎		193	168	143	177	179	182
水痘		9	6	6	10	8	7
手足口病		10	5	3	14	11	10
伝染性紅斑		3	1	3	2	4	3
突発性発しん		6	12	11	17	15	16
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	1	3	6	4	3
流行性耳下腺炎		13	17	11	13	5	18
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	5	7	5	5	2
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		2,330	2,275	1,655	1,562	1,210	1,014

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		29.59	29.04	20.48	17.96	13.19	10.25
RSウイルス感染症		0.12	0.05	0.17	0.14	0.07	0.05
咽頭結膜熱		0.21	0.38	0.19	0.43	0.31	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.79	0.88	0.95	1.31	1.26	1.02
感染性胃腸炎		4.60	4.00	3.40	4.21	4.26	4.33
水痘		0.21	0.14	0.14	0.24	0.19	0.17
手足口病		0.24	0.12	0.07	0.33	0.26	0.24
伝染性紅斑		0.07	0.02	0.07	0.05	0.10	0.07
突発性発しん		0.14	0.29	0.26	0.40	0.36	0.38
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	0.02	0.07	0.14	0.10	0.07
流行性耳下腺炎		0.31	0.40	0.26	0.31	0.12	0.43
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	0.50	0.70	0.50	0.50	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		36.91	36.85	26.77	26.03	20.71	17.71

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。